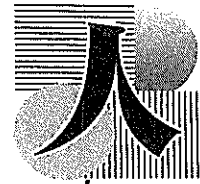


2009年(平成21年)11月20日(金曜日)



全国各地の再開発ビルで商業核テナントの撤退、管理会社の破たんが続く。こうした現状に対して改善・抜本策をもに見いだそうと活動する再開発管理会社でつくるネットワークを率いることになった。

住友商事を経て、住商アーバン開発ではユニバーサル・シティウオーク大阪(大阪市)や晴海トリトン(東京都)など多くの商業



NPO法人再開発ビル活性化ネットワーク理事長に就任した

### 藤山 正道氏

## SC改革全国に発信

施設の開発や運営を手がけ、社長にまで登り詰めた。ネットワークではこうした経験を生かし、再開発ビルで「シャッピングセンター」の経営改善の「処方せん」作成にかかわってきた。「実態とあるべき像との乖離(かいり)を目的の当りにしたことは幾度かあるが、逆に「やりがいを感じる」と動じない。

再開発ビルの経営改革の第一歩として、SCの商店会組織を、SC経営の方向付けを行う「SC経営会議」に取り込み、目標と戦略を

(ふじやま・まさみち) 68年青山学院大学経済学部卒業、住友商事入社。大阪都市開発事業部長、大阪住宅・都市開発事業部長、建設不動産本部副本部長を歴

任。01年住商アーバン開発社長。再開発ビル活性化ネットワーク理事長代行を経て13日の総会で会長に選出。愛媛県出身、64歳。